

ロングディスタンス

2006年12月31日

ロングディスタンスは大嶼山 (Lantau 島)の東側の入江、梅窩 (Mui Wo)の運動広場を競技センターとして、開催された。

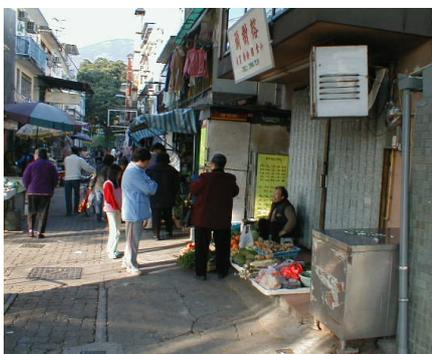
スタートはWE、MEとM21Eは45分、その他のクラスは35分の老虎山 (LoFuT au)へ登る。ほとんど木のないトレインであるが、道や踏み跡ない場所では極背丈の低い灌木や草が走行を妨げ、非常にスピードが落ちる。

WEは6km 登り360mを番場洋子が中国勢を制して優勝。2位の中国 ZhuMingYue に7分以上の差をつけて圧勝。技術要求が高いコースほど有利と番場本人も、スプリントで優勝したLiJiも言っていたとおりの結果になった。

ME10km 登り570mを制したのはフィンランドの Huhtanen Juha 1時間 48分 32秒。2位デンマークの Olsen Rune、3位リトニアの Gunnarsson が入り、加藤弘之は2時間7分24秒で5位。

M65Aで小笠原さん、M60Aで上野山さん日本が金メダルを獲得したほか、M70Aは高橋さん、石田さん、遠藤さんが1位から3位まで独占した。

また、W21Aではスプリントを制した中国のLiJiさんが1時間10分38秒で優勝し、志村直子さんは大きく離されたものの2位に入った。



ロング会場近くの朝市

ミドルディスタンス

2007年1月1日

ミドルでは、スプリントを制した中国勢対ロングの番場の争いが注目された。

ミドルはロングの南東、半島の尾根部を使って行われた。銀鋤湾はきれいな砂が広がる海水浴場。きょうも泳ぐ姿が見えた。競技センターは昨日よりその海岸に沿って南東へ1kmほど離れた野外レクリエーション場。ロングと同様、山道を登りスタートへ25分。急坂を上りきる中ほどから眼下に湾を眺めることができる。トレインは尾根上



中国勢を制した WE ロングで優勝した番場洋子。(表彰式前に 2,3 位の中国選手と)

の草地を中心とところどころ林が広がる。尾根および中腹の林は通り抜けがさほど困難ではない。また岩や裸岩が点在する。ME3.5km 登り 115m、WE2.9km 登り 105m で競われた。MEはフィンランド Kari Tuomas が制し、日本の加藤弘之が2分18秒差で3位に入った。WEは番場が38分9秒で、中国、香港を抑え2つ目の金メダルを獲得した。

W21AでもLiJiはエントリーしておらず、カザフスタンの Chuprikova さんが優勝し、志村直子さんが2位、清谷千鶴さんが3位に入った。この日もM70Aで1位、2位を取ったほか、M65Aで尾上俊雄さんが初めて金メダルをとった。



4枚の地図を仕上げたペローラさん。最終日はすっかり日焼けした顔を見せた。「ロングの地図調査では毎日現地まで1時間の山道を歩いて上がったよ」

香港のオリエンテーリング情勢

香港のオリエンテーリングシーズンは10月から4月までと短く、イベント数は20以上と日本に比べ、少ないが、国内選手権、学生選手権なども開催されている。

1960年代にイギリス軍や警察部隊によって導入され、1970年一般に紹介された。1981年に香港オリエンテーリングクラブが中心となって香港オリエンテーリング協会(OAHK)が設立された。現在の所属クラブは41、会員数は840名となっている。香港の人口690万人を考慮すると、人口あたりのオリエンテーリング愛好者は圧倒的に日本を凌ぐ。

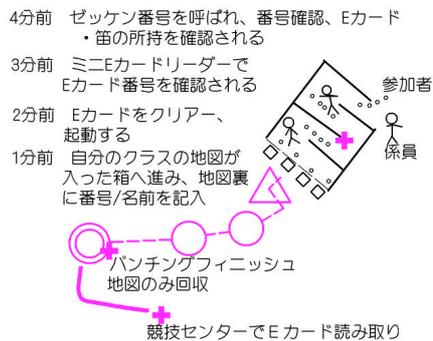


香港の少年オリエンティア。スカウト(童軍)も普及に大いに貢献している。

大会運営

20～30歳代の若者の手による競技運営はスムーズであった。

スタートはスプリント、ロング、ミドルとも同じ方式がとられた。



ゴールが競技センターから大きく離れ、また大部分を徒歩でしか移動できないロング、ミドルではEカードはゴールでは回収せず、競技センターまで参加者が持ち帰り競技センターで読み取りをした。

APOCの今後

APOCは1980年にオーストラリアで開催されてから隔年で14回開催されてきた。新鮮だった初期に比べると、参加者の減少が目立つ、特にアジア地域の開催ではアメリカ大陸のみならず、盛んなはずのオセアニア地域からの参加も非常に少ない。今大会の日本からの参加も67名と海外オリエンテーリング熱の上がり始めた1986年、中国への返還前に行っておきたいという1996年の200名を越える参加者に比べ大幅に減少した。

一方、遅れてオリエンテーリングが導入された中国が大きく参加者を伸ばし、マカオ、シンガポール、フィリピンから少数ながら香港へ初参加があったことは将来に望みがたげられる。

12月29日にAPOCミーティングが開催され、日本から村越真氏、尾上秀雄氏が出席。長い間APOC事務局長をやってきた、オーストラリアのホッジ氏が退任し、あらたに英語を日常語にしている香港に事務局を受けていただくことになった。次回2008年の日本の隣国である韓国で開催することが決まった。また合わせて、日本から提案したアジア選手権も併設することになった。開催時期は今後、他の主要大会の日程情報を収集し、決めていくことになった。2010年以降のAPOCについては香港新事務局を中心に調整していくことになった。日本も有力な開催候補国のひとつであることは間違いない。

終わりに

APOCの閉会式はミドル終了後、会場を中心街の「太子」に移し、パンケットとともに実施された。大会開催に貢献のあった方へ感謝の品が贈られたりAPOC選手権者にトロフィが授与された。また、参加者のスナップがテンポよい音楽とともにスクリーンに映し出され、大きな歓声につつまれた。

今回も好天に恵まれ、運営者も参加者も、すっかり日焼けした顔に微笑みをにじませ、満足の様子であった。

(小野盛光)

皆川美紀子基金 大募集!

http://www.geocities.jp/yoko_bamba/Mikiko_Mina_Fund.html

APOC香港で大ケガをされた皆川さんを励まそうと、番場洋子さんが上記webサイトにて皆川美紀子基金を募集しています。

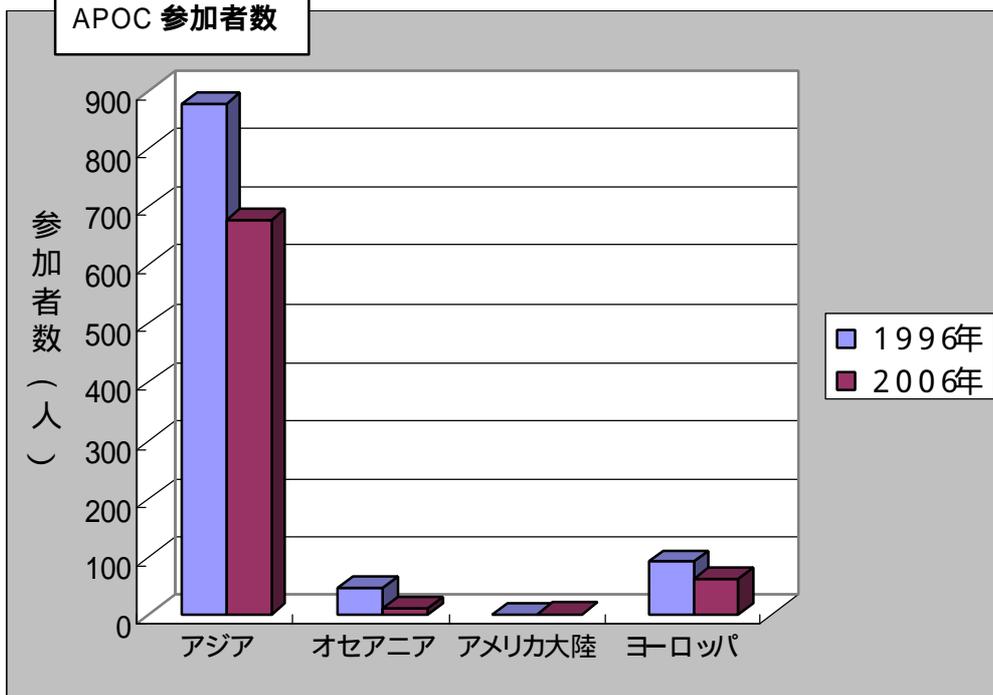
日本代表・皆川美紀子選手が、リレー競技中に高さ5mの所から転落し、足首の粉碎骨折と腓骨の骨折という大けがをしました。現在(2007年1月5日)彼女は日本に帰国し、入院生活を送っています。さらに悪いことに、彼女は、海外保険に入っていないため香港での一泊約50,000円の入院代をはじめ、今後の少なくとも1ヶ月、最悪2ヶ月ほどかかると思われる入院代・治療代その後のリハビリ代と、莫大な費用がかかってしまいます。そこで、皆川選手の負担を軽くするべく、皆様に協力をお願いしたいと思います。また、治療・リハビリ生活を応援する応援メッセージも同時に募集します。ぜひぜひ皆川美紀子基金への協力をお願いします! ご協力頂ける方は下記の銀行口座に振込みをお願いいたします。また振込みをいただいた際には、メッセージもいただけると幸いです。

東京三菱UFJ銀行 荻窪支店 普通口座
1617372 (口座名義 カトウヒロユキ)

応援メッセージ送付先
ceg04530@hkg.odn.ne.jp

沢山の方のメッセージが、入院・リハビリ生活の励ましになると思います。どうか、ご協力よろしくをお願いします。

香港での APOC 参加者数



開催国

POC	
1980	オーストラリア
1982	日本
APOC	
1984	ニュージーランド
1986	香港
1988	オーストラリア
1990	カナダ
1992	日本
1994	ニュージーランド
1996	香港
1998	中国
2000	オーストラリア
2002	カナダ
2004	カザフスタン
2006	香港
2008	韓国(決定)